

全国 高校サッカー

第93回全国高校サッカー選手権大会（読売新聞社など後援）に県代表として出場する尚志高校（郡山市）の選手らが20日、県大会を主催した福島中央テレビの本社（同）を訪れ、村西敬生社長らから激励を受けた。

訪問したのは仲村浩二監督や山城

頑張れ尚志 ボールなど寄贈



サッカーボールを贈呈される尚志の山城廉主将（右）（20日、郡山市で）

廉主将（3年）など6人。村西社長から激励金20万円を贈られたほか、全国大会を協賛する帝人のグループ企業「帝人在宅医療」の東藤健司・福島営業所長からサッカーボール10個を受け取った。

山城主将は「全国制覇が、家族など支えてくれた人への恩返しになる」と決意を述べ、中村監督は「初戦の（広島県代表の）広島皆実高校は7年前に1回戦で敗れた。全国の厳しさを教わった相手に、今度は自分たちの力を見せたい」と意気込んだ。初戦は12月31日、千葉県柏市の「柏の葉公園総合競技場」で行われる。